

「近江牛」ブランド・販売戦略における取組と成果

環境・農水常任委員会資料7-②
令和3年(2021)年10月4日
農政水産部畜産課

1. 「近江牛」ブランド・販売戦略 (平成28年3月策定)

- (1) 策定の趣旨：関係者共通認識のもと、他産業とも連携し、関係団体・行政の一体的かつ戦略的な取組を進める
- (2) 策定の目的：①「近江牛」のブランド高揚を図り、有利販売を目指す
②商業や観光業なども含めた「滋賀」の地域ブランド力全体の向上につなげる
- (3) 県の役割：生産者が安定生産に取り組みやすく、また、販売・流通業者が販売・流通しやすいような環境を整えることを第一の役割とし、そのための支援・コーディネートを行う
- (4) 推進期間：平成28年度～令和2年度

2. 主な取組と成果

戦略	項目	5年間の主な取組	成果																					
ブランド	<ul style="list-style-type: none"> 特徴の明確化 ブランドの磨き上げ 定義のあり方検討 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携し、「近江牛」の飼養方法をマニュアル化し、コンセプトを整理 伝統、品質や社会的評価などが産地と結びついている産品として、平成29年にGIに登録 	<ul style="list-style-type: none"> GI登録により、特徴を客観的なものとして明確化するとともに磨き上げを図ることができた 生産者団体を中心に「近江牛」の定義の見直しや基準の細分化などについて検討したものの、結論に至っていない 																					
PR・販売	<ul style="list-style-type: none"> 他業種(観光)との連携 インバウンド対応の強化 県外流通量増加(東京への定時・定量・定質出荷、取り扱い店舗の増加) PR推進体制の強化 輸出拡大 	<p>【国内でのPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社と協働して滋賀県の観光と近江牛のツアーを造成(H28、H29) 首都圏での近江牛ラッピングバスの運行によるPR(H29) 東京駅や京都駅等でデジタルサイネージ広告(H30～R2) 日本橋高島屋やここ滋賀でのメニューフェア(H28～H29) 首都圏の飲食店でのメニューフェア(H30～R2) 京阪神のホテル等でのメニューフェア(H28～R2)   <p>【インバウンド対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近江牛のPR動画を作成(5言語) 「近江牛」生産・流通推進協議会ホームページの5言語化への支援 近江牛ファクトブックを作成し、旅行会社、近江牛提供店舗等で配布(5言語)(H28) 近江牛ポスター(英語)作製し、東京駅、京都府内・滋賀県内の主要駅で掲示(H28、H29) 香港、シンガポールから旅行事業者を招へいし、近江牛と観光のPR動画と旅行プランを作成(H29) インバウンド向け予約サイトで近江牛が食べられる旅行プランを作成し掲載(3言語)(H29) 海外の主要旅行予約サイトに近江牛・滋賀の紹介を掲載(中国、米国)(R1)   <p>【海外への販路拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> 滋賀食肉センターが対台湾輸出牛肉取扱施設の認定を受け、新たに台湾への輸出開始(H29) ベトナム、タイ、台湾で海外プロモーションを実施(H28～R1) 海外の商談会等への出展・テストマーケティングの支援(1/2補助)(H28～R1) ジェットロと連携し、現地での商談やカッティングセミナーの開催、バイヤー招へい等による支援を実施(H29～R2) 海外情報誌での食材PR(ベトナム、シンガポール)(H29) 	<p>出荷頭数の増加</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>6,970頭</td> <td>8,156頭</td> </tr> <tr> <td>東京出荷</td> <td>415頭</td> <td>372頭</td> </tr> </table> <p>県外での近江牛取扱店の増加</p> <table border="1"> <tr> <td>H27</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>91社</td> <td>96社</td> </tr> </table> <p>近江牛の認知度の増加</p> <p>【近江牛を知っている人】</p> <table border="1"> <tr> <td>東京都</td> <td>79.4%</td> </tr> <tr> <td>京阪神</td> <td>89.5%</td> </tr> </table> <p>※平成30年9月インターネット調査</p> <p>輸出頭数の増加</p> <table border="1"> <tr> <td>H27</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>426頭</td> <td>583頭</td> </tr> </table> <p>PR体制をGI登録の登録・管理団体である(一社)滋賀県畜産振興協会に一元化</p>		H27	R2	全体	6,970頭	8,156頭	東京出荷	415頭	372頭	H27	R2	91社	96社	東京都	79.4%	京阪神	89.5%	H27	R2	426頭	583頭
	H27	R2																						
全体	6,970頭	8,156頭																						
東京出荷	415頭	372頭																						
H27	R2																							
91社	96社																							
東京都	79.4%																							
京阪神	89.5%																							
H27	R2																							
426頭	583頭																							
生産	<ul style="list-style-type: none"> 生産基盤の強化 「安全・安心・高品質な近江牛」の生産管理 	<ul style="list-style-type: none"> 畜産クラスター事業等により、近江牛の飼養頭数の増加、規模拡大を推進 繁殖雌牛の増頭に対する奨励金の交付やキャトル・ステーションの設置による分業化・省力化を推進し、肥育素牛の自給率の向上を推進 繁殖雌牛の繁殖管理や子牛育成技術について生産者への技術指導・相談対応を実施 生産・流通団体等の連携による稲発酵粗飼料(稲WCS)、飼料用米等の自給飼料の生産・利用を推進 安全・安心・高品質な近江牛の生産管理や病気の少ない近江牛生産のため、飼養衛生管理基準遵守や、動物用医薬品の適正使用を指導 	<p>飼養頭数および肥育素牛の自給率の増加</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>R2(速報値)</td> </tr> <tr> <td>近江牛の頭数</td> <td>11,818頭</td> <td>14,501頭</td> </tr> <tr> <td>繁殖雌牛の頭数</td> <td>1,272頭</td> <td>2,053頭</td> </tr> <tr> <td>肥育素牛の自給率</td> <td>14.8%</td> <td>19.3%(R1実績)</td> </tr> </table>		H27	R2(速報値)	近江牛の頭数	11,818頭	14,501頭	繁殖雌牛の頭数	1,272頭	2,053頭	肥育素牛の自給率	14.8%	19.3%(R1実績)									
	H27	R2(速報値)																						
近江牛の頭数	11,818頭	14,501頭																						
繁殖雌牛の頭数	1,272頭	2,053頭																						
肥育素牛の自給率	14.8%	19.3%(R1実績)																						